

ガザ戦争の犠牲者を追悼するキャンドルを持つ集会参加者=3日、ロンドン（ロイター）



## 「平和を」ロンドンで聖職者ら

英国のロンドンで3日、イスラエル・ハマスの紛争により亡くなった人を悼み、平和を求める集会が開かれ、1000人以上が参加しました。

英紙インディペンデント電子版などによると、集会は、反ユダヤ主義やイスラム教徒ヘイト（憎悪）に反対する団体「橋を架けよう」が開催したもの。英国国教会のウェルビー大主教、ユダヤ教の聖職者ラビ、イスラム教の聖職者イマーム、平和活動家、国會議員などが集まりました。

集会では、ウェルビー大主教が「罪のないイスラエル人を殺すことも、罪のないパレスチナ人を殺すこともまったくひどいことだ」と批判。「戦闘は家族の苦しみと将来への恐怖をもたらし、平和を遠ざける」と戦闘停止と平和を求めまし

た。

ハマスの攻撃で両親を失ったイスラエル人のマーゲン・イノンさんは、怒りはあるとしながらも「恐怖と憎しみを捨て、よりよい未来が可能だと望むことが報復の唯一の道だ」と語りました。

パレスチナ人の平和活動家ハムゼ・アワードさんは今回の紛争で親類が負傷したとしながら、怒りと復讐を収め、世界が平和のために介入することを求めました。

集会はまた、反ユダヤ主義とイスラム教徒ヘイトに切り裂かれたイギリス社会の状況を懸念。ウェルビー氏は「反ユダヤ主義に対しても、イスラム教徒ヘイトに対しても一緒に反対しよう」と呼びかけ、参加者は紛争の犠牲者に黙とうしました。